

大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム (SCORE)
事後評価結果通知

課題番号	STSC30013
研究開発課題名:	遠隔音楽療法サービスのための統合環境の開発
研究代表者(所属・役職・氏名)	東京医療保健大学 医療保健学部 医療情報学科 准教授 小杉 尚子

1. ビジネスモデル仮説検証の目的

本プロジェクトでは、遠隔音楽療法のサービス化を目指しており、「日本全国の音楽療法を提供したい音楽療法士と音楽療法を受けたい対象者のマッチングと、音楽療法を遠隔で提供・受療できる環境の構築をサポートすることで手数料または利用料を取得する。」というビジネスモデルを考案した。そこで、このビジネスモデルを検証するために、実際に顧客候補となる音楽療法士と介護施設経営者や認知症高齢者等に、遠隔音楽療法を提供・受療してもらい、その内容や効用を体験してもらう。その上で、費用負担について評価してもらうと共に、良かった点や改善して欲しい点をヒアリングし、今後の活動推進の参考とする。

2. ビジネスモデル仮説検証の概要

本プロジェクトでは、遠隔音楽療法のサービス化を目指して、技術検証とビジネスモデル仮説検証を行った。実際に音楽療法士宅と高齢者介護施設に遠隔音楽療法を提供・受療できる環境を構築して、通信時間の測定などの技術検証を行うと共に、顧客候補である音楽療法士と高齢者介護施設関係者に遠隔音楽療法の実体験に基づく意見を収集して、ビジネスモデル仮説を検証した。最新の技術を用いて、実環境で技術検証できたことや、実際の顧客候補者にサービスを体験してもらって意見収集できたことは非常に有意義であった。また、SCORE に参加することで、新しい学びがあったり、当初想定していた以上の人脈を得ることができたりしたことも非常に有意義であった。

3. 総合所見

ビジネスモデル仮説検証活動を学会や実際の施設で適切に実施した点を評価する。高齢化社会に必要な療法の一つであると考えるので、引き続き、事業化や技術移転を目指して、活動を継続することを期待する。

以上